資料№４

２０１６年

ジュニア・サミット

in三重

～　概要と市の目指すもの　～

ジュニア・サミット

開催まで、

あと７７日

いつ・どこで開催か

開催時期：

平成２８年４月２２日～２８日

開催場所：

ナガシマリゾート主会場

ジュニア・サミットとは

そもそも、ジュニア・サミットって何？

桑名市にとって、何かメリットは？

➢今日は、その疑問にお答えしたい。

※ただし、日程、工程、ルートは、詳細は未定

今後、状況に応じて公表

本日の説明内容

1. ジュニア・サミットとは
2. なぜ、桑名市で開催なのか
3. 桑名市は、なぜ招致を目指したのか
4. 開催に向けた動き
5. 市全体でのおもてなし（桑名市民会議設立）
6. ７つの部会の主な活動内容
7. 主な啓発活動（100日前イベント）
8. 今後の予定とポストジュニア・サミット

ジュニア・サミットとは

サミットに附帯して、世界の中高生が世界の問題について話し合う国際交流事業

➢参加国は、Ｇ７各国。

（日本、カナダ、フランス、　ドイツ、イタリア、イギリス、アメリカ）

➢環境や貧困など、子どもにかかわる問題解決のための提言を行う。

➢ジュニア・サミットの日本での開催は、２回目

2008年の北海道の千歳市以来の開催。

なぜ、桑名市で開催なのか

桑名市は、誘致活動を実施。最終３自治体で競合

➢10月27日外務省で、桑名市を主会場と発表

ジュニア・サミット開催の要件

会場：国際会議ができる設備（同時通訳）

宿泊：個室等の快適性と安全性

食事：ハラールとベジタリアン対応

桑名市は、なぜ招致を目指したか

桑名市の課題解決のため、地域活性化のため

桑名市の課題とは、大きく2点

①人口減少への対応

国内では年間３０万人の人口減少化社会に突入

②財政の硬直化

経常収支率９９．７％（県内ワースト１）

➢戦略的に経済や財政に改善をもたらす取組が必要

課題解決のための戦略（計画）

戦略　①桑名市総合計画（最上位計画）(H26策定)
施策：『桑名をまちごとブランドに』
➢「住みたいと選ばれるまち」を目指す
②桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (H27策定)
施策：『インバウンド』
➢「海外誘客により滞在と消費」を目指す

※絶好の機会、知名度向上と誘客のチャンス

具体的な取り組みと目指すもの

取組：①市内外の交流とインバウンド

- 情報発信の回数を増やす（メディア活用）
- ＨＰや旅行サイトへのアクセス増

➢（成果）観光入込客数増、市内宿泊者増

②ＭＩＣＥ招致（国際会議や展覧会、展示会）

- 会議数、参加数を増やす

➢（成果）滞在者増、物産販売額増

目指すもの：

➢認知向上、選ばれる街➢今後の滞在と消費に繋げ、活性化

開催に向けた動き

11月	12月	1月	2月	3月	4月

11/9 ジュニアサミット推進課を設置（職員３名）
桑名市役所１階にカウントダウンボードを設置

11/20 駅前サンファーレで横断幕の掲出

11/25 第１回ジュニア・サミット庁内プロジェクト会議の開催

12/16 第２回ジュニア・サミット庁内プロジェクト会議の開催

12/18 ジュニア・サミット桑名市民会議の開催

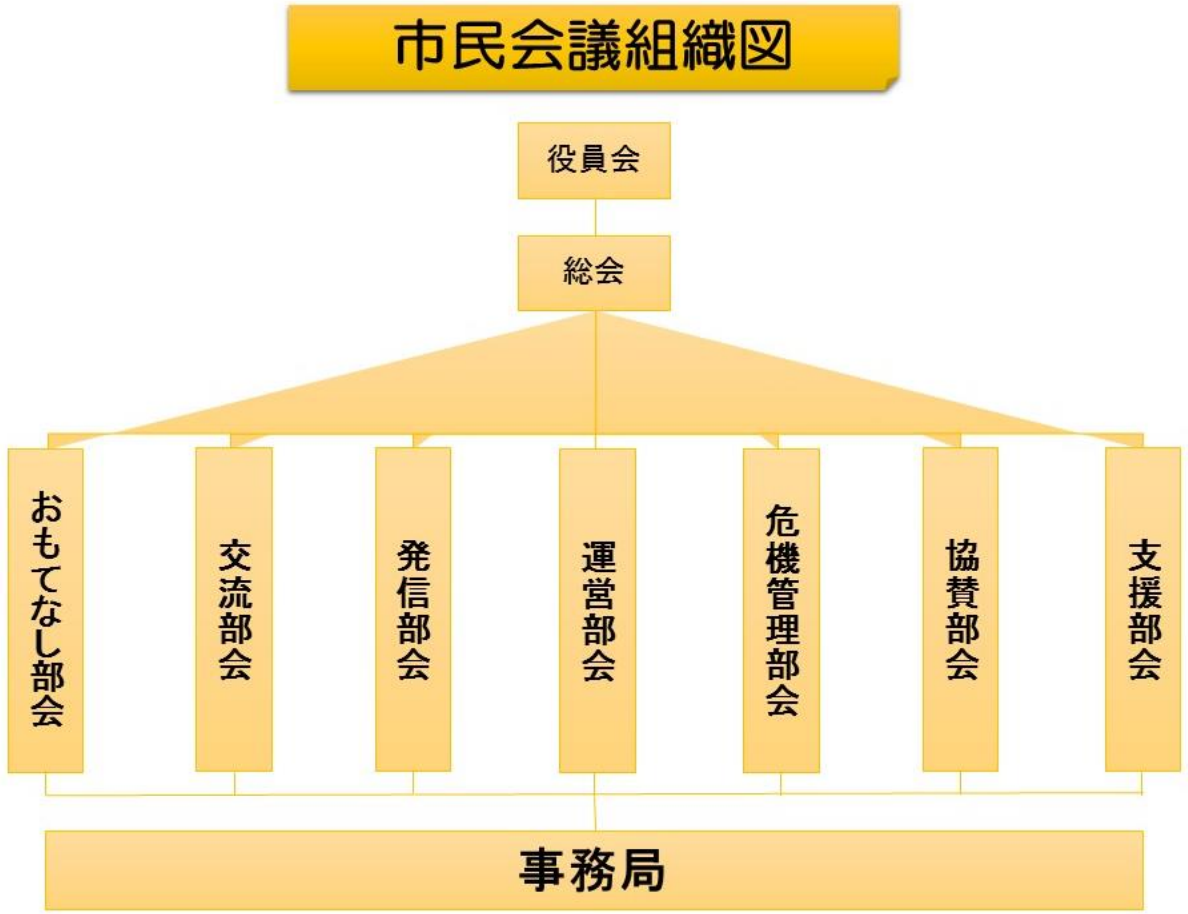
1/13 ジュニア・サミット開催１００日前イベントを桑名駅前で開催

1/14 第３回ジュニア・サミット庁内プロジェクト会議の開催

市全体でおもてなし（体制編成）

12月18日
ジュニア・サミット
桑名市民会議設立

- 市民の皆さんをはじめ、各種団体や企業及び行政関係者で組織。
- ７つの部会で活動



７つの部会の主な活動内容

おもてなし部会

- 市内の清掃活動や街路樹の剪定、花いっぱい運動などの景観整備
- 公共施設や公共交通機関を利用したＰＲ活動

７つの部会の主な活動内容

交流部会

- 市民の交流、中高生の交流
- 参加国の理解を深める取り組み

発信部会

- 国内プレス、国外プレスへの情報発信
- 民間企業等と連携したＰＲ活動

７つの部会の主な活動内容

危機管理部会

- 会場の警備支援
- 予防、救急、救護、ライフラインの安全確認に関すること

運営部会

- 市民会議の運営、会場の運営
- 市民会議予算の会計監査

７つの部会の主な活動内容

協賛部会

- 企業及び個人からの寄附対応
- 民間企業等との協働、協賛

支援部会

- 市民会議全体の調整
- 北勢地域との連携

など

主な啓発活動

１００日前イベントの様子

- １月１３日（火）桑名駅前で開催。
- サンファーレにのぼり旗を設置。
- ポケットティッシュを配布。

のぼり旗

ポケットティッシュ

今後の予定と活動

啓発活動：情報発信のためのイベント
- 50日前イベント（3月5日）
- 30日前イベント（3月23日）

交流事業：ジュニア・サミット参加者を始め、来訪者に桑名の歴史、文化など魅力を伝える。

ポスト事業：今回の開催意義を引き継ぐシンボル的遺産と継続活動

ポストジュニア・サミット（案）

今回の開催意義を引き継ぐ継続活動

①経験を踏まえた、市民の総合力の維持・活用
- ➢伝統文化の継承、市民活動による交流（祭り、ほんぱく）

②ＭＩＣＥの招致
- ➢官民連携によるプロモーション活動（国際会議からエンタメ）

③インバウンド
- ➢商工事業者を始め市民の意識の変化（ｼﾞｪｽﾁｬｰ・指さし案内）
- ➢外国人を受け入れる環境整備（ｻｲﾝ・Wifi・パンフ）

※H27年度　官民のインバウンド連絡会（勉強会）スタート

最後に、成功に向けては

一人ひとりが「おもてなし」

のぼり旗

オール桑名で、
積極的な関わりをお願いします。

ご清聴ありがとうございました。